

国会議員へ陳情

10月2日から3日までの2日間、熊野町議会視察研修を行いました。

10月2日

平成30年7月豪雨災害のおりに大原ハイツへ調査に来ていただいた、国土交通省国土技術政策総合研究所（茨城県つくば市）に視察を行いました。



▲重機シミュレーション体験



▲トンネル内の実験調査



▲排水パイプ内のドローン点検調査

災害時の重機遠隔操作の実験やトンネル内での火災実験等を現場で見聞きする事ができました。最先端の情報をもとに町へ様々な提案をしていきます。

10月3日

衆参議員会館（東京都千代田区）において斉藤国土交通大臣、新谷衆議院議員、寺田衆議院議員、森本参議院議員へ要望しました。



町の要望を伝えました

【要望書の内容】

「毛筆を使った書写教育の推進について」

正しい姿勢、集中力を身に付けさせる、低学年書道科への推進をお願いしました。

「主要地方道 矢野安浦線の整備推進について」

渋滞緩和のため早期全線開通に向けお願いしました。

「都市公園の円滑な整備による文化 芸術 観光交流の促進について」

筆の里工房周辺整備事業に伴う予算の確保をお願いしました。

住民の意見を行政に対し反映していくよう努力します。

伝統工芸を活かした公園整備と移住・定住先進地を視察調査

総務建設委員会

11月7日から8日までの2日間、熊本県人吉市で人吉クラフトパーク石野公園、大分県豊後高田市で移住・定住対策について、視察調査を行いました。

ひとよし いしの 人吉クラフトパーク石野公園

人口3万人の人吉市が平成元年に整備したこの公園は、21ヘクタールの広大な敷地に地元の伝統工芸や郷土玩具などの体験型施設、物産館、キャンプ場等を有し、近年では人吉球磨スマート・インターチェンジの開通に合わせ、公園の一部を道の駅として再整備するなど、外国人観光客を含む集客数の拡大に向け官民一体となって取り組んでいます。



体験型施設の内部



国道から見る公園（右が道の駅）



陶芸体験館（イベント広場周辺に配置）



中央のイベント広場と展望所



道の駅（物産館）の内部



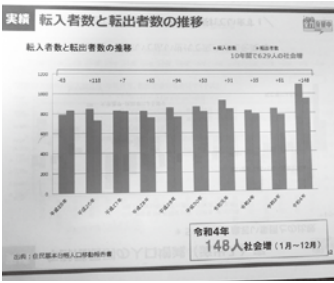
市の担当職員から詳しく説明を受けました

ふんごたかだ 豊後高田市の移住・定住対策

人口2万2千人の豊後高田市は、全国トップレベルの子育て支援、空き家バンクなど155項目の充実した移住・定住支援メニューにより10年間で629人の社会増（転入者と転出者の差がプラス）を達成するなど、全国初の『住みたい田舎』11年連続ベスト3に選ばれている移住・定住先進自治体です。



市の担当職員から詳しく説明を受けました



平成26年から9年連続で社会増を達成



全国初の『住みたい田舎』11年連続ベスト3に選ばれています

今回の調査を踏まえ、本町の『筆の里工房周辺整備事業』と『移住・定住対策』について、町執行部への提言に向け、引き続き調査していきます。